



平成24年10月31日

お客様各位

UBSグローバル・アセット・マネジメント株式会社

「UBS債券投資」に関する報道について

拝啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨日、UBSは、2012年第3四半期の決算および事業戦略を添付の通り発表しました。これを受け、「債券投資から撤退」といった報道が一部なされておりますが、UBSグローバル・アセット・マネジメントに関するものではないことを、ご報告させていただきます。

UBSグローバル・アセット・マネジメントが設定・運用しております「投資信託」および「投資一任業務」等については、影響はございません。

UBSグローバル・アセット・マネジメントは、引き続きお客様に対し最良の運用とサービスの提供を行っていく所存でございますので、今後とも皆様からのご愛顧をよろしくお願い申し上げます。

敬具

<添付資料>

2012年10月31日

UBS、事業体制強化戦略の加速を発表

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本日、UBSは好調な2012年第3四半期決算、ならびに当行の顧客中心主義を強化すべく大胆かつ決然たる事業戦略を発表しました。

厳しい市場環境にもかかわらず、第3四半期は全事業部門において業績の向上がみられ、ウェルス・マネジメント、ウェルス・マネジメント・アメリカズおよびスイス国内のリテール&コーポレート部門においては、本年最高の業績を収めました。また、コストおよびリスク加重資産を引き続き削減し、資金調達力と流動性を確保しつつ、業界最高水準の自己資本比率を前倒しで充実させております。加えて、資産集約型ビジネスでは、本四半期は140億スイス・フラン、年初からの9ヶ月間では360億スイス・フランの新規資産流入を計上しています。

同日UBSは、今後インベストメント・バンクは、従来から強みを有するアドバイザー、株式、為替、貴金属の各分野に注力し、主に債券を中心とする、規制改革により安定的なリスク調整後収益が確保しづらく、不採算となっている事業分野から撤退することを発表いたしました。こうした措置により、UBSは、お客様を中心に据え、資本およびバランスシート集約度の低い、高水準のキャッシュフロー創出能力を誇る、銀行業界では類のない存在となる見込みです。

今回の事業改革を実行していく際には、混乱を最小限に抑え、そして、お客様に当行とお取引して頂くにあたってご不明な点が生じないようにする所存です。すべての進行中の顧客活動は通常通り完了し、厳格に手続きがとられます。当行が撤退するトレーディング業務はプロフェッショナルかつ責任ある手続きを踏んで段階的に縮小し、継続する業務はこれまで通り、影響なく行ないます。

UBSインベストメント・バンクは、引き続き企業、政府・国家機関、機関投資家、ファイナンシャル・スポンサー顧客へのサービスに注力すると同時に、同部門はウェルス・マネジメントならびにスイス国内の銀行業務と強力な連携を図り、パートナーとしての役割を果たしてまいります。UBSは、インベストメント・バンクの中核事業分野に投資を図り、当行が強みを持つ分野における重要なグローバルプレーヤーとしての地位を堅持してまいります。

この度の措置により、UBSは世界の拠点における従業員の一部影響を与えることについて十分に配慮しております。削減の一部は自然減の結果によって達成される見通しで、当行は全体的な影響を軽減させるために可能な限りの措置を取ってまいります。一連の過程を通じ従業員をサポートし、慎重に対応していく所存です。

これらの措置によって当行事業戦略を加速させることにより、UBSはお客様に選ばれる銀行を目指して尽力し、市場にコミットすることを明確に示します。お客様には引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

敬具